

授業科目名	キャリアディベロップメント (2000084)		
時間割名	キャリアディベロップメント (70205)		
時間割担当	石田秀朗		
実施期	前期	単位数	1 選択
曜日・時限	集中		

授業の目標・概要

「キャリアデザイン」で学んだ知識や技法を活用し、自分の将来のキャリアプランに関連し、専門教育課程では直接学ぶことができない、実社会における課題解決型あるいは価値創造型のプロジェクトを、仲間と協働し、情報・コミュニケーション技術も活用しながら、PDCAサイクルを意識して主体的に企画・実行する。また、プロジェクトの概要や成果等について情報発信を行う。これにより、主体的思考力、コミュニケーション能力、マネジメント能力、創造力、構想力など、基礎的な汎用的能力を身につけるとともに、将来のキャリアを補強するための基礎的な知識・技術と実践力を培う。授業は少人数のグループワークを中心にを行い、成果についてはグループ単位で発表するなどし、受講者全員で共有する。複数の教員が担当し、適宜、各担当教員の専門性を生かして学生の主体的な学習を支援する。

学習の到達目標

1. 自分の将来のキャリアプランに関連し、実社会における課題解決型あるいは価値創造型のプロジェクトを、仲間と協働し、情報・コミュニケーション技術も活用しながら、PDCAサイクルを意識して主体的に企画・実行する。また、プロジェクトの概要や成果等について情報発信を行う。
2. プロジェクトの企画・実行をとおして、主体的思考力、コミュニケーション能力、マネジメント能力、創造力、構想力など、基礎的な汎用的能力を身につけるとともに、将来のキャリアを補強するための基礎的な知識・技術と実践力を培う。

授業方法・形式

授業は基本的に少人数のゼミ形式で行い、適宜、情報・コミュニケーション技術を活用し、グループワークや合同ゼミなども取り入れる。各ゼミのプロジェクトの概要や成果等については、webサイト等を通して、広く情報発信を行うとともに、本授業の受講者とも共有し情報交換や意見交換を行う。

授業計画

履修登録までにゼミ選択のための情報（各ゼミの学習テーマ、内容など）の提供を行う。

- 第1回 オリエンテーション
- 第2～3回 実社会における課題解決型あるいは価値創造型のプロジェクトの調査
- 第4～5回 実社会における課題解決型あるいは価値創造型のプロジェクトの企画
- 第6～7回 実社会における課題解決型あるいは価値創造型のプロジェクトの試行
- 第8～12回 実社会における課題解決型あるいは価値創造型のプロジェクトの実行
- 第13回 プロジェクトの概要や成果等のまとめ
- 第14回 プロジェクトの概要や成果等のまとめ（webサイトによる情報発信）
- 第15回 プロジェクトの概要や成果等のまとめ（個人レポートの作成）

成績評価の基準

授業への取組（自己学習、積極的発言、発表など）50%、学習内容や成果のまとめ（web情報発信、個人レポート）50%

準備学習・復習及び授業時間外の課題

受講学生が主体的に授業内容に関する課題を設定し、自己学習（復習・予習）を行う。

履修上のアドバイス及び留意点

「キャリアデザイン」の単位を修得していることを受講の前提条件とする。実際の授業は担当教員ごと（ゼミ）に分かれて行う。具体的な学習テーマ、内容、日程等は担当教員により異なるので、履修ガイダンスの際に知らせる。受講者には、主体的なプロジェクトへの取り組みを求める。

教材・教科書

特定のテキストは使用せず、授業内容に関する資料等を配付する。

参考書

参考図書、参考文献等については適宜、情報を提供する。